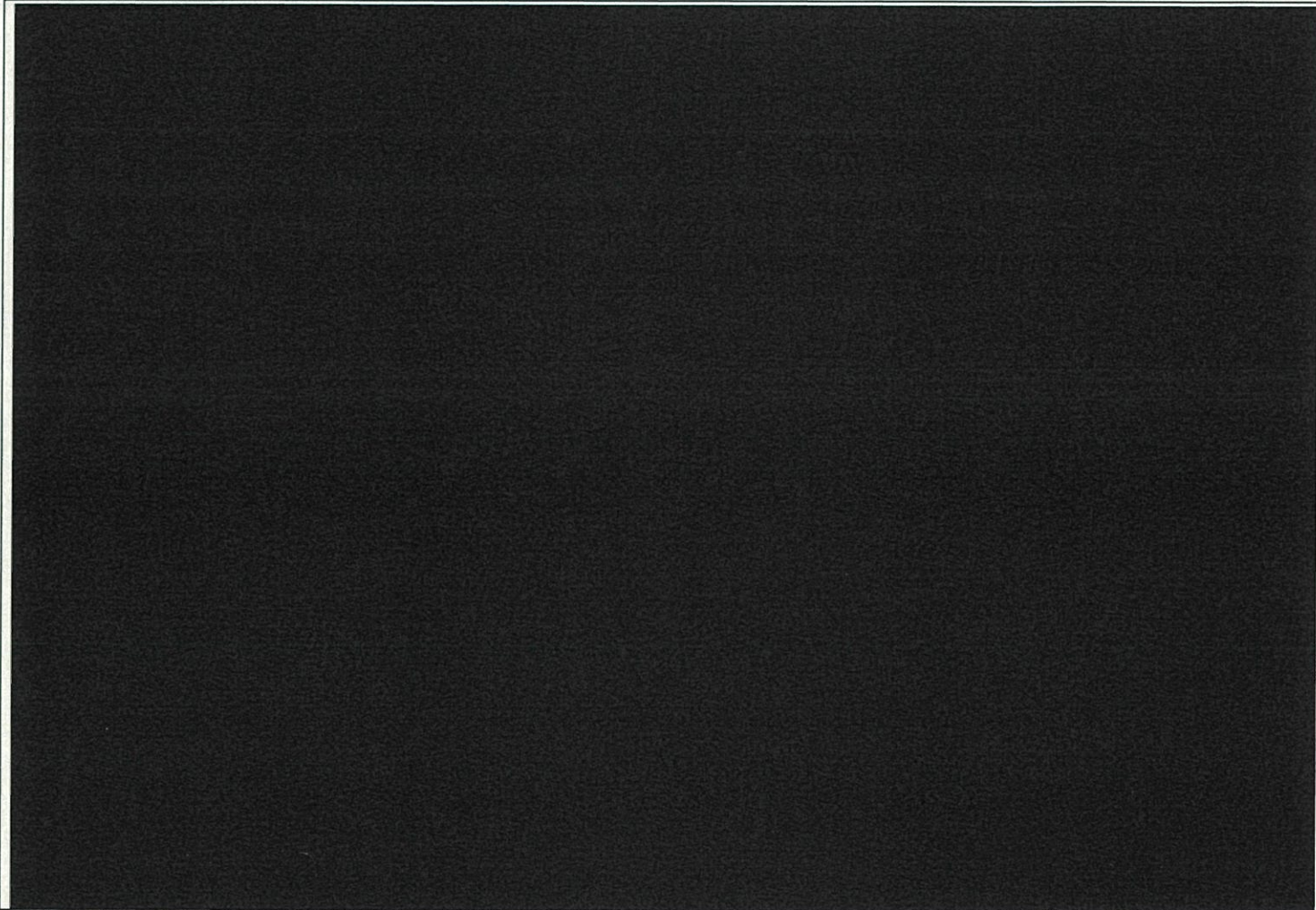


○

第6回夢洲等まちづくり事業調整会議資料より抜粋



**大阪・夢洲地区特定複合観光施設区域
の整備に関する計画（案）【概要版】**

2021年12月23日

大阪府、大阪市、MGM・オリックス コンソーシアム

I R 事業について

○ 大阪・夢洲地区特定複合観光施設区域の整備に関する計画（案）抜粋

I R 区域整備の意義・目標

意義

- ◆大阪の更なる成長に向けて
 - 成長産業である観光分野の基幹産業化
 - ポストコロナにおける観光需要の回復・反転攻勢に転じる取組み
 - 世界中から新たに人・モノ・投資を呼び込む I R の導入は不可欠

目標

- ◆世界水準のオールインワン M I C E 拠点の形成
 - 大阪・関西の経済成長を牽引する M I C E の新たな誘致・開催 等
- ◆国内外の集客力強化への貢献
 - 大阪における訪日外国人旅行者数や旅行消費額の更なる増加 等
- ◆日本観光のゲートウェイの形成
 - 大阪 I R への来訪者を各地に送り出し、I R 立地に伴う集客効果を各地に相乗的に波及

長期・安定的な事業実現

◆ 事業期間：35年間（延長30年間※）

※ I R 事業者は事業期間の満了にあたって延長を申し出ることができ、大阪・関西圏の持続的な経済成長や国際観光拠点の強化等の観点等から、事業の継続を前提に、大阪府・市及び I R 事業者で条件等（延長後の投資計画を含む。）を協議

◆ 適切なガバナンス機能を確認し、円滑かつ確実な事業実施の確保と長期間の安定的・継続的な事業の継続を図る。

- I R 事業者によるセルフモニタリング
- 大阪府・市によるモニタリング
- 大阪府・市及び I R 事業者による会議体の設置
- I R 事業評価委員会の設置
- 金融機関との連携 等

I R 区域の位置・規模等

【 I R 区域の位置（広域図・周辺図）】



| | | |
|------------|------------------------|-----------------|
| I R 事業の名称 | 大阪・夢洲地区特定複合観光施設設置運営事業 | |
| I R 施設の名称 | 大阪 I R | |
| I R 施設の所在地 | 大阪府大阪市此花区夢洲中 1 丁目の一部ほか | |
| 土地概要 | 敷地面積 | 約49.2万㎡（敷地A及びB） |
| | 都市計画区域/用途地域 | 市街化区域/商業地域 |
| | 建ぺい率/容積率 | 80%/400% |
| | 防火地域 | 準防火地域 |

土地使用権原等

- ◆ 契約手法：事業用定期借地権設定契約（借地借家法第23条第1項）
- ◆ 賃貸借期間：35年間
- ◆ 賃料：428円/㎡・月額
- ◆ I R 事業者は I R 区域を一体的に管理（敷地 A 及び B 間に立体横断施設を設置し、区域全体の土地利用上並びに I R 施設間の回遊性や機能上の一体性及び連続性を確保）

I R 事業について

○ 大阪・夢洲地区特定複合観光施設区域の整備に関する計画（案）抜粋

I R区域の交通の利便性

- ◆大阪は、西日本の玄関口。空路、鉄道、高速道路、航路と全ての主要交通網が接続している交通の要衝
- ◆大阪 I Rは、全ての主要交通拠点が半径30km以内に集積している臨海部の「夢洲」に位置し、利便性の高いアクセスが可能

国際アクセス

◆海外からのアクセス

- 充実した国際ネットワークを有する関西国際空港により、アジア諸国等との容易なアクセスが可能
- 上海・釜山から、大阪国際フェリーターミナルに定期便が就航

国内アクセス

◆近畿圏外から大阪へのアクセス

- 関西 3 空港の国内線ネットワークにより、各都市からのアクセス可能
- 東海道・山陽新幹線、北陸、山陰、南紀方面へ特急列車が運行
- 名神高速道路・中国自動車道等の高速道路ネットワーク
- 大阪港を起点とした、船舶ネットワーク 等

域内アクセス

◆I Rへのアクセス

- 大阪メトロ中央線延伸により、大阪市内の主要駅からのアクセス確保
- 夢咲トンネル、夢舞大橋の2ルートを確認するとともに、夢舞大橋では6車線化工事（現在は4車線）等が事業中
- 大規模なバスターミナル及び駐車場の整備や、夢洲北側護岸には係留施設を整備

交通ネットワーク

◆航空ネットワーク

- 関西国際空港
 - ・世界75都市、国内17都市とのネットワークにより、年間約3,200万人の航空旅客を受け入れ
- 大阪国際空港
 - ・国内26都市とのネットワークを有し、年間約1,650万人利用
- 神戸空港
 - ・国内7都市（日33便）を結び、年間約336万人が利用

◆鉄道ネットワーク（新大阪駅）

- 東海道・山陽新幹線
 - ・1日あたり東京駅方面へ約120便、博多駅方面へ約70便が運行
 - ・東京駅から約2時間30分、名古屋駅から約50分でアクセス 等

◆高速道路ネットワーク

- 大阪発着での自動車による効率的な移動が可能
- 名古屋まで約180km（約3時間）、京都まで約60km（約1時間30分） 等



交通アクセスの現状と渋滞対策

- ◆夢洲地区への訪問者増加等に対応するため、地下鉄や外周道路・高架道路の整備、既設道路等の改良等、交通インフラ整備を行う予定
- ◆交通基盤整備(バス及び海上アクセス拠点)、駐車場の確保等のハード対策及び自動車利用の抑制、ピーク時需要の削減等のソフト対策も実施予定

※航空ネットワークの利用者数については、2019年実績